

基本方針

人々が豊かな環境を育み
環境が健やかな人を育むまち・静岡

分野1:生活環境

住み良さを実感できる生活環境をつります

- 【環境目標】
- ①安心安全な生活環境の確保と充実
 - ②歴史・文化とふれあう機会の充実
 - ③緑あふれる美しいまちの創出
 - ④良質な水環境の保全

分野2:自然環境

豊かな自然環境を守り、次の世代へ繋いでいきます

- 【環境目標】
- ①南アルプスなどの自然環境・生態系の保全
 - ②自然を活用した人材の育成

分野3:地球環境

総合的に地球温暖化対策に取り組みます

- 【環境目標】
- ①省エネルギーの推進
 - ②地域の特徴を活かした再生可能エネルギーの普及促進
 - ③災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化
 - ④気候変動に適応した対策の推進

分野4:循環環境

環境に配慮した廃棄物政策を推進します

- 【環境目標】
- ①廃棄物のさらなる減量に向けた協働の推進
 - ②安定的な廃棄物処理体制の確保

平成30年度 環境指標の進捗状況 ◎…達成済み ○…達成見込み △…要調整 ×…達成困難 ---…中止

分野	No.	指標	基準値 (H25)	中間目標 (H30)	最終目標 (R4)	平成30年度		備考 (増減要因、今後の方向性など)
						現状値	達成状況	
生活環境	1	事業者の公害法令順守率	87%	90%	92%	95.3%	○	
	2	文化財保護事業に携わる市民ボランティア数	35人	100人	150人	101人	○	
	3	市民一人当たりの都市公園面積	6.0㎡/人	6.7㎡/人	8.0㎡/人	6.51㎡/人	○	
	4	生活排水処理率	80.7%	86.8%	90.0%	83.7%	△	【目標値変更】平成31年3月に一般廃棄物処理基本計画を改定したことから、令和元年度より新たな目標値を設定する。
自然環境	5	南アルプス主要地域の高山植物種数の維持	15種	15種	15種	13種	○	
	6	環境ボランティア数	5,013人/年	5,100人/年	5,200人/年	4,107人/年	△	【指標変更】雨天等によりボランティア活動が中止になると、参加人数が大きく変動することから、令和元年度より新たな指標を設定する。
地球環境	7	市民及び事業者の電気使用量の削減量	電灯 3.72MWh 電力 5.03MWh	4%削減	8%削減	算出不可	—	【指標変更】電力小売り全面自由化により、H28.4.1以降の実績値の集計ができないことから、令和元年度より新たな指標を設定する。
	8	市内の電気消費量に対する再生可能エネルギーの構成割合	4.00% (21.5%)	5.00% (22.5%)	6.00% (23.6%)	5.84% (23.4%)	○	()内は、大規模水力発電を含む数字
	9	防災スマート街区の形成	0街区	2街区	4街区	0街区	△	【指標変更】平成30年9月に発生した台風は、大規模停電を引き起こし、多くの市民の生活に影響を与えた。安心・安全なまちづくりを進めるうえでは、改めて個々に分散型電源を確保する必要性を再認識したことから、令和元年度より新たな指標を設定する。
	10	気候変動に対応するための体制整備	未整備	-	整備	庁内勉強会 施策整理	○	
循環環境	11	一人1日当たりのごみ総排出量	1,008g/人日	926g/人日	860g/人日	935g/人日	△	【目標値変更】平成31年3月に一般廃棄物処理基本計画を改定したことから、令和元年度より新たな目標値を設定する。改定した計画に基づき、ごみ減量に向け施策を推進していく予定。
	12	最終処分場への埋め立て量	14,477t/年	13,111t/年	11,731t/年	9,381t/年	○	【目標値変更】平成31年3月に一般廃棄物処理基本計画を改定したことから、令和元年度より新たな目標値を設定する。